

大腸がんのリスク検査 Cologic™ (コロジック)

受診医療機関名: エヌケークリニック

お名前: エヌケー太郎

受診ID:

9950

性別:

男性

受診日:

2017/6/1

年齢:

50

大腸がんリスク判定結果

Cologicテストの結果、あなたのGTA-446の値は **正常値未満** で
大腸がんのリスクは **高リスク** と判定されました。

GTA-446測定値	リスク判定結果	正常値範囲		
			低リスク	2.4 μ mol/L以上
1.4 μ mol/L	高リスク	男性	低リスク	2.4 μ mol/L以上
			高リスク	2.4 μ mol/L未満
		女性	低リスク	1.6 μ mol/L以上
			高リスク	1.6 μ mol/L未満

Cologic(コロジック)検査とは？

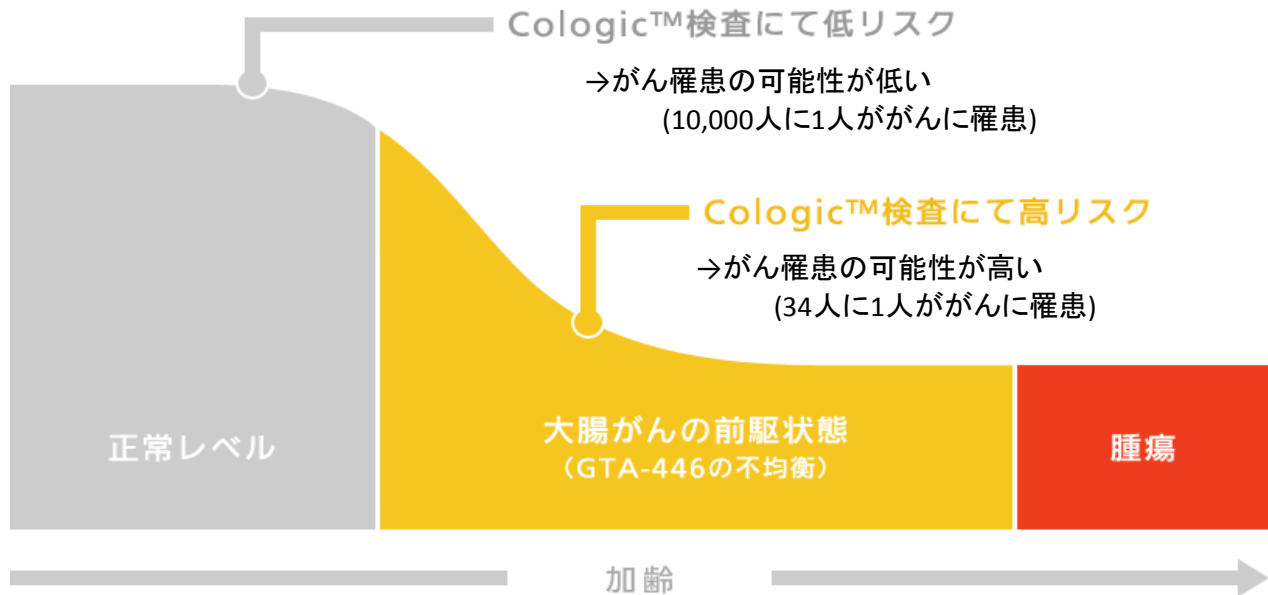
Cologic検査では、GTA-446という脂肪酸の濃度を測定しています。GTA-446は大腸癌に対する防御作用や抗炎症性の作用を持っていると考えられております。臨床研究から、GTA-446の値が正常の範囲より低い方では、大腸がんのリスクが高いこと、GTA-446の値が正常の範囲内の方では大腸がんのリスクが低いことが示されています。

総合評価コメント

今回の検査結果ではGTA-446の数値が低下しており、大腸がんのリスクは高い状態であると判定されました。必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

◆GTA-446濃度と大腸がんのリスクについて

GTA-446は大腸がん患者で特異的に減少することが明らかにされており、高リスク群では低リスク群に比べ約300倍のリスクを有していることが分かっています。なお、GTA-446値は一度減少すると回復しないと言われています。



大腸がんを予防するために

リスク因子を無くしましょう。

大腸がんについては、原因はまだ十分に解明されているわけではありませんが、現在研究によって発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。リスク因子をお持ちの方はまずは予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

食生活



そのメカニズムは明確にはなっていないものの、赤身肉(牛・豚・羊の肉)や加工肉(ベーコン、ハム、ソーセージ)の過剰摂取は大腸がんのリスクを上昇させるとわれています。

喫煙



喫煙は大腸がんの発症危険度を増加させると報告されています。また喫煙自体も、動脈硬化やその他のがんのリスク要因とも考えられています。

アルコール



過度なアルコール摂取は大腸がんのリスク要因と考えられています。1日1合以上飲酒する方では、お酒を飲まない人に比べて、2倍ほど大腸がんリスクが高まるとされています。

肥満



肥満は大腸がんの発症危険度を増加させることが報告されています。男性ではBMI(肥満指数)が25以上の方では、それ以下の人に比べてリスクが2倍ほど高まるとされています。

◆Cologic検査で高リスク判定だった方に

大腸がんは早期発見できれば、「治るがん」とも言われています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめしています。(下記は実施例です。)

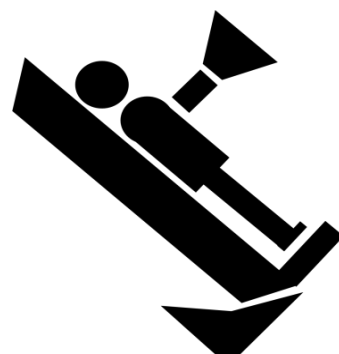
大腸内視鏡検査



肛門から、太さ11-13mm程度の細長く、軟らかいカメラを入れて、大腸全体(状況により小腸の一部まで)を観察する精密な検査方法です。
大腸がん、大腸ポリープ、大腸憩室症、炎症性腸疾患などの大腸、直腸の疾患の発見に優れています。

注腸造影剤検査

お尻から硫酸バリウム(造影剤)と空気を注入し、大腸の中の病変を撮影する検査です。
大腸末端部まで内視鏡が到達しなかった方や腹部の手術による癒着のため内視鏡挿入時の痛みが強い方に用いられることがあります。



大腸3D-CT検査



X線とコンピュータを使用し大腸の画像を撮影する検査です。
内視鏡を挿入せず大腸の鮮明な画像を撮影できるため、「バーチャル大腸内視鏡検査」とも呼ばれます。内視鏡では見落としがちな大腸のひだの裏などの病変の観察が優れています。

参考: 大腸癌治療ガイドライン2016より

解析・測定:

MLD
MED-LIFE DISCOVERIES LP

Med-Life Discoveries LP.

販売:

NKmedico

NKメディコ株式会社

※Cologic™はカナダ及び他の国々で登録されたMLD社の商標です。